

尚徳寮

令和3年5月28日

鳥取大学附属中学校

No. 2

「郷土と関わる修学旅行」

4月21日・22日と、「郷土と関わる修学旅行」を行いました。初日は鳥取の特色ある観光地を巡った後、「先輩に学ぶ」講演会。人工流れ星への挑戦を続ける附属中学校の先輩、岡島礼奈さん（株式会社 ALE 代表取締役社長）からお話を聞きました。「とっとりふるさと大使」をつとめ、郷土へ貢献しながら世界へ羽ばたく岡島さんの姿は3年生の胸に響くものがあったようです。



岡島さんの講演会

拝啓 さて先日はお忙しいところ、講演をしていただきありがとうございました。僕はまだ将来の夢が決まっていません。どうしようかな、って悩んでいるときに岡島さんに出会いました。岡島さんは後20年くらいしたら新しい仕事ができるから今ある中からまだ選ばんてほしいと言ってくれて、本当に言葉が心に響きました。一つの言葉に、いくつものアイデアが湧き、自分のやり方のできるものがわかりました。僕も岡島さんのように附中から出たすごい人になりたいです。岡島さんのさらなるご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

敬具 森 躍 翔

令和三年四月二十八日

岡島 礼奈様



山陰松島遊覧船

県水産試験場

岡島さんへのお礼状



大山みるくの里でソフトクリーム



グラウンドゴルフ発祥の地、泊



鳥大医学部で脳の働きを実感

二日目はクラス別企業研修。鳥取大学医学部をはじめ、特色ある郷土の企業・団体で研修を行いました。コロナ対策として日程を短縮しての修学旅行でしたが、みんな充実した顔で帰校しました。

修学旅行事後学習「地域の魅力を知る」兼「先輩に学ぶ」



5月18日には、昨年度「観光甲子園」準グランプリに輝いた鳥取西高チーム5名が、鳥取県の魅力について3年生に話をしてくれました。チームには鳥大附属中の先輩が多く、自身の中学校時代の思いや成長についても語ってくれ、生徒は共感しながら聞いていました。修学旅行のテーマである「Think of the Future Act in Tottori」をもう一度考えることができる時間でした。



応用実習を実施しました。

5月10日（月）から21日（金）の2週間、34名が教育実習を行いました。教育実習の場を提供することは、附属中学校の使命の1つです。指導教員の指導の下に、実習生は真摯な気持ちで前向きに取り組んでいました。中学生も実習生の来校を自然体で受け入れていました。実習生の直向きな姿に共感し、自分たちも向上しようとする生徒を育てていきたいと思えます。

2回目は6月23日（水）から7月6日（火）の2週間で附属中の卒業生などが実習を予定しています。

6月1日は開学記念日

6月1日（火）は鳥取大学の開学記念日です。全学で開学の意義を考える日としています。現在本校は、ここ湖山の地にありますが、昭和60年までは「尚徳の地」として親しまれた鳥取県庁前にありました。その「尚徳」とはどこからきたのか、それが鳥取大学の前身である鳥取藩の藩校の名に由来するものです。

藩校「尚徳館」は徳を尊び人としての生き方を学ぶ、そのような場所であったそうです。「文武併進」は江戸時代から受け継がれてきた校訓です。人としていかに生きるか、これは現代の私たちも問い続けるべきことです。

教育懇話会執行委員の皆さんを紹介します。



1年間よろしく願っています。

役職(専門部)	氏名(敬称略)
会長	西川 征和
副会長	池田 光之
副会長	原田 朋美
監査	田熊 乃愛
監査	尾崎 佳三
幹事	山中 達郎
幹事	山下 浩史
会計	塩 敦
生活部長	本多 千亜希
文化部長	松本 可奈子
研修部長	田中 宏典

運動会準備 始動！！

6月19日（土）の運動会に向け準備が始まっています。各クラスの応援旗は完成し、運動会当日を待っています。



3 A



2 A



1 A



3 B



2 B



1 B



3 C



2 C



1 C



3 D



2 D



1 D